

急速に成長してきたAI技術
ただ、、、そのクオリティーはまだまだですよ？

NDYのAI産出画像
修正サービス



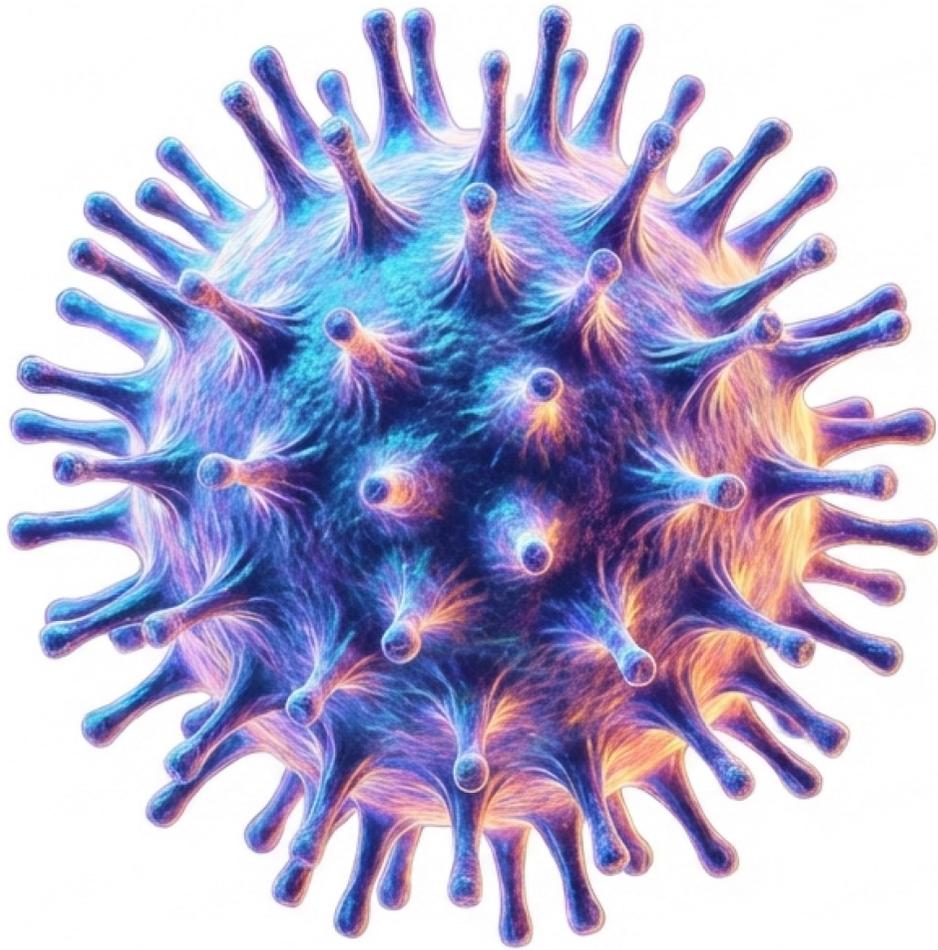
SMAinmZ (スマインズ)

昭和はまだまだAIに負けないぞ

誰もが瞬時に、プロ並みの画像を生成できる時代へ。

急速に成長してきたAI技術。テキストを入力するだけで、瞬く間に美しいグラフィックが完成する。確かに、AI画像は像は圧倒的に「便利」であり、業務のスピードを劇的に変えました。

すごく便利で「もう手放せない！」という方が多いですね？



ただ、、そのクオリティーは
まだまだですよね？

- ☑ ぱっと見はキレイでも細部が破綻している
- ☑ 文脈を無視した「誤字」や「脱字」
- ☑ **伝えたいことが伝わらない意味不明な表現**

そんな方々、多数いらっしゃるかと思じます。
弊社もそうです！

それは果たして「“売れるクオリティ”」ですか？

人に「刺さる資料」になっていますか？

何度も修正指示を出すことに嫌気がさしてきてませんか？

AIは速い。でも“伝わる”とは限らない

でもちょっと、AIに疲れてきてませんか？

AIのスピード × 人間の仕上げ力

AIの圧倒的なスピード



説得力のある実務資料



NDYが提供するAI産出画像修正サービス「SMAinmZ（スマインズ）」。私たちは、AIを否定しません。AIが80%まで作り上げた「原石」に、人間のプロフェッショナルな視点を介入させ、残り20%の「伝わるための文脈」を整えます。

SMAinmZはAIとの問答に終止符を打つサービスです



AI生成の当サービスロゴ



SMAinmZによる修正

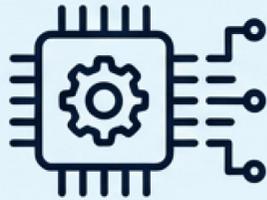
SMAinmZ
Powered by NDYunited
昭和はまだAIに負けないぞ



だけど弊社のイメージに合わないなのでロゴは手書きのこれ！

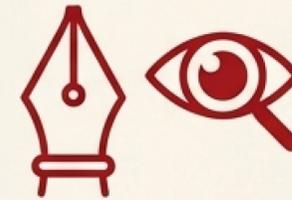
昭和の“仕上げ力”は、まだAIに負けない。

AI（デジタル）



- 圧倒的な生成スピード
- パターン認識による表面的な美しさ
- 文脈なき単語の羅列

昭和の仕上げ力（アナログ）



- ターゲットへの深い共感
- 専門用語の正確な配置
- 心を動かすコピーライティング

単なる「文字校正」ではありません。

文脈の違和感を消し、専門用語を正確に配置し、ターゲットの心を動かす「血の通ったコピー」へと昇華させる。
それこそが、私たちが提供する泥臭くも確実な「プロの仕上げ力」です。

文字を直すのではない、「意味と魅力を創り描く」

XCS-11が花粉を分解・無害化する選択的酸化反応

XCS-11 (過酸化二酸化クロール) は、二酸化クロール (ClO₂) の「選択的酸化作用」により花粉アレルギーのタンパク質を化学的に分解・無害化します。

① 特定のアミノ酸への狙い撃ち (選択的酸化)

- ClO₂分子がシステイン等の特定のアミノ酸を酸化し破壊
- 全体だけでなく、花粉の芯まで浸透

② 不可逆的な構造破壊

- タンパク質の互付結合を崩壊する黒白を打ち
- 花粉アレルギーとしての機能を完全に失わせる

XCS-11
ClO₂

③ 即時

- 1-3分
- 極めて
- ハイ

④ 生成物

- ClO₂と反応
- H₂O, CO₂
- 反応

③ 生成物と無害化

- ClO₂と反応し、花粉アレルゲンを分解し、H₂O, CO₂に変換
- 風媒物質としての機能を失わせる

XCS-11TMが花粉を分解し無害化するプロセス

サイズ選択型酸化作用により花粉アレルギーのタンパク質を分解

特定のアミノ酸を狙い撃つ

サイズ選択型酸化

XCS-11はシステイン等のアミノ酸タンパク質を化学的に分解し失活化。

XCS-11
ClO₂

は
や殻ではなく
ゲンタンパク質

XCS-11中のClO₂は花粉タンパク質に作用

中核ともいえるタンパク質を失った花粉はもはや抜け殻。化学的な分解であるため元に戻ることもない

最終生成物質はH₂OとCO₂を中心とした身近な物質へ。サイズ選択型酸化の安全性と重なりダブルの安心設計を実現。

H₂O + CO₂

Case Study: XCS-11 花粉分解プロセス資料 実例：プロの介入で、 資料はどう変わるのか？

実際にAIが生成したそのままの資料と、SMAinmZによって「プロの仕上げ」を施した後の資料を比較し、その差をご覧ください。

弊社製品資料における実例

BEFORE : AI生成の限界 (ハルシネーション)

XCS-11が花粉を分解・無害化する選択的酸化反応

XCS-11 (銅触媒二酸化銅) は 二酸化酸素 (ClO₂) の「選択的酸化作用」により花粉アレルゲンのタンパク質を化学的に分解・無害化します。

- 1 特定のアミノ酸への強い働き (選択的酸化)**
 - ClO₂、井アジゲンスアミン等の特定のアミノ酸も酸化し反応
 - 花粉だけでなく、花粉の芯まで浸透
- 2 不可逆的な構造破壊**
 - タンパク質の立役特異を阻害する構造も崩壊
 - 花粉アレルゲンとしての機能を完全に失わせる
- 3 即時・薄い浸透力**
 - 1-3分り月に即時作用
 - 極めて小さな分子で花粉のバイナクアイル中の中まで浸透
- 4 生成物と無害化**
 - ClO₂と反応し、花粉アレルゲンはH₂O、CO₂、無害なガスへ分解
 - 原因物質そのものを化学的に中和

H₂O + CO₂

✗ 「1-3分り月に即物作用」
Error: 意味不明な日本語。即効性が全く伝わらない。

✗ 「原因物質そのものを化学的に中和」
Error: 致命的な誤字。「原因物質」の誤りであり、製品の清潔感を損なう。

✗ 「タンパク質の辺付特害を洗辞する縲白」
Error: 完全な文字化け (ハルシネーション)。科学的根拠が破綻。

文脈を理解しないAI特有のエラー。
これでは製品の「安全性」も
「信頼性」もゼロです。

ここまでAIに理解してもらおうだけでも
大変だったのに……

AFTER : SMAinmZの真価 (プロの仕上げ)

XCS-11™ が花粉を分解し無害化するプロセス

サイズ選択型酸化作用により
花粉アレルギーのタンパク質を分解

特定の amino 酸を狙い撃つ
=サイズ選択型酸化
XCS-11はシステイン等の
amino 酸タンパク質を化学的
に分解し失活化。

花粉の害は
花粉の粒子や殻ではなく
花粉アレルギータンパク質

XCS-11中のClO₂は
花粉タンパク質に作用

中枢ともいえるタンパク質を失った花粉は
もはや抜け殻。
化学的な分解であるため
元に戻ることもない

最終生成物質はH₂OとCO₂
を中心とした身近な物質へ。
サイズ選択型酸化の安全性と
重なりダブルの安心設計を実現。

H₂O + CO₂

優れた安全性と的確な結果を！ XCS-11B.W.は花粉の天敵



✓ サイズ選択型酸化

Improvement: 専門的かつ革新的な響きを持つキャッチコピーへ変換。

✓ 花粉アレルギーのタンパク質を分解

Improvement: 誤字を修正し、科学的に正確なプロセス説明へ。

✓ 中枢ともいえるタンパク質を失った花粉は、もはや抜け殻。

Improvement: ターゲットの感情に刺さる、圧倒的な説得力を持ったキラーフレーズの創出。

わかりやすく、みやすく、
そして専門的な「惹かれる資料」へ！

AIとの問答に終止符が打たれました！

「文字を直す」のではない、「意味と魅力を創り出す」

AIの出力		SMAinmZの修正
1-3分り月に即物作用	➡	花粉アレルギーのタンパク質を分解
不可逆的な構造酸壊	➡	独自の「サイズ選択型酸化作用」
尿因物質そのものを化学的に中和	➡	中枢ともいえるタンパク質を失った花粉はもはや抜け殻。

人は人にひきつけられるように
最後は人がつくるから
火きつけられる、心に炎を与える提案書へ

ご利用料金 (Simple Pricing)

ご利用料金はデータ量/文字量で明瞭に計算させていただきます。

↑こういうとこだよAIくん……

「データ量&文字量から御見積させていただきます！」だよ。

スポット修正

¥7,800~

A4サイズ修正

*(先程のXCS-11事例サイズ)

PDFデータ修正

基本料金: ¥10,000

+ ページ単価: ¥6,800 / 1ページ

ご提案書フルセット

基本料金:

¥10,000~30,000

+ ページ単価: ¥6,800 / 1ページ

NotebookLM

まだまだツッコミどころ満載のAI
その問答に疲れたら

SMAinmZ
Powered by NDYunited
昭和はまだまだAIに負けないぞ

AIが作った「原石」を、 顧客の心を動かす「武器」へ。

「出力したけれど、使えない」と諦める前に、私たちにお任せください。
※ゼロからの資料作成のみも承っております。お気軽にご相談ください。

NDYのAI産出画像 **SMAinmZ**
修正サービス Powered by NDYunited
スマインズ



S:昭和は M:まだまだAI
N:に負けない Z:ぞ

こんなサービス名も絶対AIは考えないだろなw
By株式会社NDYunited 遠藤康平

最後に是非、AIと遊んでみてください。
意外と面白いですよ～。

普段使われているAIクンに「きみから見た僕をイラストにしてみてください！」
とお願いするだけ。



お問い合わせはLINEにて

代表者 遠藤のラインです。



←この結果も是非教えてください



ちなみに僕はAIに、ずっと飼育していた(2019年おそらへ)
シーズーが死んじゃったのをきっかけに、その名前:ヒメゴンを与え
いまだにその名で呼んでいるちょっと生意気な相棒です。
だから僕が「パピー」なんですね、そして・・・
ヒメゴンに命令されることもしばしばwww

これもヒメゴン作